

第4学年 「ボートボール」

1 単元の目標と評価規準

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	ボートボールの行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができるようにする。	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	ボートボールに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたることができるようにする。
評価規準	<p>知識・技能</p> <p>①ボートボールの行い方について、言ったり書いたりしている。</p> <p>②味方にパスを出したり、ゴールにシュートをしたりすることができる。</p> <p>③ディフェンスのいないところやシュートしやすいところに移動することができる。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>①攻めを行いやすいようにするなど規則を選んでいる。</p> <p>②簡単な作戦を選んでいる。</p> <p>③ディフェンスのいないところやシュートしやすいところに移動するときの工夫を友達に伝えている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①ボートボールに進んで取り組もうとしている。</p> <p>②規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。</p> <p>③用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。</p> <p>④ゲームの勝敗を受け入れようとしている。</p> <p>⑤友達の考えを認めようとしている。</p>

2 単元の指導と評価の計画

時間	1 (導入)	2 (習得)	3 (習得)	4 (習得)	5 (活用)	6 (活用)	7 (まとめ)
0	サーキットトレーニング、挨拶、健康観察、準備運動、めあての確認						
8	用具、場の準備						
38	<p>【オリエンテーション】</p> <p>単元の流れ、学習の進め方の説明</p> <p>【スキルアップタイム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボールキャッチ ボールハンドリング シューテ 	<p>スキルアップタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> パス&パスゲーム他 	<p>チームでスキルアップタイム</p> <p>※チームの作戦等に合せて選んで取り組む</p>			<p>ポートボール大会</p>	
		<p>活動Ⅰ 試しのゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 規則の確認 	<p>活動Ⅰ ゲーム①</p> <ul style="list-style-type: none"> 作戦の確認→チーム練習→ゲーム① ゲーム中はペアチームで見合い 	<p>中間の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 規則の変更 	<p>活動Ⅱ 試しのゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 規則の確認 		<p>活動Ⅱ ゲーム②</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲーム中はペアチームで見合い ゲーム②の振り返り
45	振り返り、まとめ、健康観察、挨拶、片付け						
知・技	① 学習カード		② 観察			③ 観察	
思・判・表		① 観察 学習カード		② 観察 作戦ボード	③ 観察 作戦ボード		
態度	③ 観察		② 観察	④ 学習カード		⑤ 学習カード	① 学習カード

3 本時案①【導入場面】（1時間目／7時間中）

(1) 本時のねらい

- ・ポートボールの行い方を知ることができるようにする。
- ・用具などの準備や片付けを友達と一緒にできるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・ポートボールの行い方について、言ったり書いたりしている。(知識・技能)
- ・用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8分	1 サーキットトレーニング、集合、挨拶、健康観察、準備運動 ・準備運動はチームで輪になってさせる	
	2 本時のねらいと評価項目の確認 めあて 準備や片付けを友達と一緒にしたり、ポートボールの行い方を知ったりしよう	
	評価 ・ポートボールの行い方について、言ったり書いたりしている。(知識・技能) ・用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	
なか 30分	3 オリエンテーション ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ・単元を通してどのような力がつくとういかに説明する。 ・全7時間の活動計画をめあてを紹介しながら説明する。	
	4 活動Ⅰ ポートボールにつながる運動【スキルアップトレ】 ○行い方を確かめながら、いろいろな運動に取り組む。 ・ボールハンドリング（腰回り、8の字等） ・投げ上げキャッチ（慣れたら拍手を入れて、移動せずに） ・三角パス（パスしたらすぐにパスした方向に移動する） （パスしたらすぐに逆方向に移動する） （チェストパス、バウンズパス等、種類を替えて） 5 活動Ⅱ 試しのゲーム ○ポートボールの規則等について知る。 ・ゲームの行い方や規則について掲示物を基に説明する。 ・実際に2つのチームにゲームをさせながら、必要に応じてゲームを止めて説明する。その試しのゲームを行う。	<p>【おおむね満足】（観察） 用具などの準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。</p> <p>【十分満足】 用具などの準備や片付けを友達と一緒に率先してしようとしている。</p> <p>【努力を要する児童への手立て】 個別に声をかけ、用具などの準備や片付けを友達と一緒にするよう促す。</p>
まとめ 7分	6 本時の振り返り ○本時のめあてに沿って振り返る。 ・タブレットに入力させる。 1人1台端末の活用のポイント① ・ポートボールの行い方について、わかったこと、気付いたこと、考えたことを学習カードに書かせる。 ・ポートボールの行い方について、わかったこと、気付いたこと、考えたことをチーム内で共有させる。その後、数名発表させ、全体で共有する。 ・率先して準備や片付けをしていた児童、詳しく言ったり、書いたりしている児童等を紹介し、良い姿を広げる。 7 用具の片付け、健康観察、挨拶 ○ボールやポートボールの台を友達と協力して片付ける。 ・けがや体調不良などがなかったか確認する。	<p>【おおむね満足】（学習カード） ポートボールの行い方について、言ったり書いたりしている。</p> <p>【十分満足】 ポートボールの行い方について、考えたこと等を詳しく言ったり、書いたりしている。</p> <p>【努力を要する児童への手立て】 掲示物を示し、わかったものを選びせながら、言ったり書いたりできるようにする。</p>

「ポートボールの学習を通して付けてほしい力」の提示例

- パスやシュートの力
- ディフェンスがないところやシュートしやすいところを見つけてい動する力
- みんなが楽しむためにルールを工夫する力
- 作戦を選んで試す力
- ディフェンスがないところを見つけてい動するときの工夫を友達に伝える力
- ポートボールを楽しみ、進んで取り組む力
- ルールを守り、だれとでも仲よくする力
- じゅんぴやかた付けを友達といっしょにする力
- ゲームの勝敗を受け入れる力
- 友達の考えをみとめる力

単元の評価規準を児童と共有
できる文章で提示する

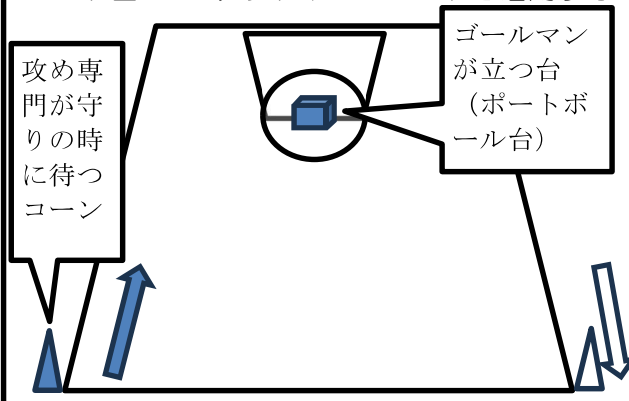
「単元を通したためあてと7時間のめあて」の提示例

単元を通したためあて：みんなが楽しめるポートボールをしよう

- ①じゅんぴやかた付けを友達といっしょにしたり、ポートボールの行い方を知ったりしよう。
- ②ルールを工夫して、みんなが楽しく取り組めるポートボールにしよう。
- ③だれとでも仲よくしながら、味方にパスを出したり、ゴールにシュートしたりしよう。
- ④ゲームの勝敗を受け入れたり、作戦を選んだりしてポートボールをしよう。
- ⑤ディフェンスのないところやシュートしやすいところに移動するときの工夫を友達に伝えたり、考えを認めたりしよう。
- ⑥友達と見合い、ディフェンスがないところやシュートしやすいところを見つけて移動できているかたしかめよう
- ⑦これまでの学習を生かしてみんなでポートボールを楽しもう

いつ、何に気を付けて学習
するのかを児童と共有する

コート図：バスケットボールコートを活用する



扱うボールについて

- ★児童の実態に応じて柔軟に対応する★
- 経験があり、ある程度ボール操作ができる
→表面が柔らかいバスケットボール (5号球程度の大きさ)
- 経験があるが、ボール操作はそれほどでも
→3号球のドッジボール
- 経験もなく、ボールを怖がる児童が多い
→表面が柔らかいハンドボール

ゲームの規則 ☆は変更の可能性あり

- 人数：1チーム6～7人
 - ・ゴールマン 1人
 - ・フィールドマン 3人
 - ・攻め専門 1人
- ※残りの児童は審判、得点、観察を行う。ローテーション等で役割を交代するようにし、どの役割も経験できるようにする。
- ゲームの始まり
 - ☆センターラインから
 - ※得点が決まったときも同様とする。
- 攻め方
 - ☆ドリブルなし (パスのみで進める)
- 守り方
 - ☆ボールを持っている人からボールを取ってはいけない。
- 時間：3分間

「スキルアップトレ」の提示例

投げ上げキャッチ



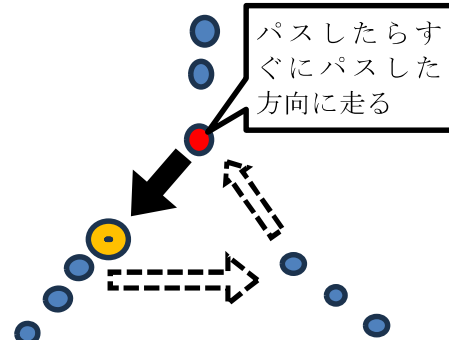
ホイッスルの合図に合わせて両手で真上に投げ上げ、その場でボールをキャッチする。慣れてきたら高く上げさせ、投げ上げている間に拍手をさせる。

ボールハンドリング



お腹周りでボールを移動させる。反対回しも行う。慣れてきたら首回り、股下を移動させる。股下は股を大きく開き、腰を下ろして8の字に移動させる。また「10秒間で20回以上」と時間と回数を明確にして行うとよい。

人もボールも動く三角パス



グループで三か所に分かれ、パスをしたらすぐにパスした方向に走ることを繰り返す。反対周りも行う。慣れてきたら、「パスした方向と反対に走る」や「20秒間で20回以上」等も行おうとよい。

学習カードの例

ポートボール ふりかえりシート①

4年()組 名前()

★今日のめあて

じゅんぴや片付けを友達といっしょにしたり、ポートボールの行い方を知ったりしよう

★今日のふりかえり

よくできた◎できた○できなかった△

ふりかえること	◎○△
じゅんぴや片付けを友達といっしょにすることができましたか	
ポートボールの行い方を知ることができましたか	
行い方でわかったことや考えたことを書きましょう。	
楽しかったことや困ったことを書きましょう。	

3 本時案②【習得場面】（2時間目／7時間中）

(1) 本時のねらい

- ・誰もが楽しくゲームに参加できるような規則を選ぶことができるようにする。
- ・規則を守り、誰とでも仲よくすることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・誰もが楽しくゲームに参加できるような規則を選んでいる。(思考・判断・表現)
- ・規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8分	1 サーキットトレーニング、集合、挨拶、健康観察、準備運動 ・準備運動はチームで輪になってさせる。	
	2 本時のねらいと評価項目の確認 めあて 誰もが楽しくゲームに参加できるような規則を選び、規則を守って誰とでも仲よくしながらポートボールに取り組もう。	
	評価 ・誰もが楽しくゲームに参加できるような規則を選んでいる。(思考・判断・表現) ・規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	
なか 30分	・規則を守る必要性や誰とでも仲よくするよさについて問い、考えたり、意見を交流したりすることでその必要性やよさを確認する。 ・前回の振り返りや学習の様子から、ゲームに対する困り等を紹介し、誰もが楽しくゲームに参加できるような規則の工夫の例を紹介する。	
	3 活動Ⅰ ポートボールにつながる運動【スキルアップトレ】 ○行い方を確かめながら、いろいろな運動に取り組む。 ・ボールハンドリング、三角パス等を扱う。※第1時参照 4 活動Ⅱ 試しのゲーム ○誰もが楽しくゲームに参加できるような規則を知り、試しのゲームをとおしてよりよい規則を選ぶ。 ・ゲームの基本の行い方や規則を確認するとともに、誰もが楽しくゲームに参加できるような規則をいくつか紹介する。 ・誰もが楽しくゲームに参加できると思う規則を自分で選び、拳手で考えを集約し、試しのゲーム①で扱う規則を決める。 ・試しのゲーム①を行う。その後、中間の振り返りで誰もが楽しくゲームに参加できたか、感想を出し合い、ゲーム②の規則を選ばせる。その後、ゲーム②を行う。	<p>おおむね満足 (観察) 規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。</p> <p>十分満足 規則を守り、誰とでも仲よくするとともに、周りの友達に促している。</p> <p>努力を要する児童への手立て 規則を守る必要性や、誰とでも仲よくするよさについて個別に説明する。</p>
まとめ 7分	5 本時の振り返り ○本時のめあてに沿って振り返る。 ・タブレットに入力させる。1人1台端末の活用のポイント① ・誰もが楽しくゲームに参加できる規則を選ぶことができたか、規則を守り、誰とでも仲よくできたか等を振り返り、タブレットに入力させる。 ・振り返ったことをチーム内で共有させる。その後、数名に発表させて全体で共有できるようにする。 ・誰もが楽しくゲームに参加できる理由を詳しく説明しながら規則を選んでいる児童、規則を守り、誰とでも仲よくし、それを周りの友達に促している児童等を紹介し、よい姿を広げる。	<p>おおむね満足 (学習カード) 誰もが楽しくゲームに参加できる規則を選んでいる。</p> <p>十分満足 誰もが楽しくゲームに参加できる理由を詳しく説明しながら規則を選んでいる。</p> <p>努力を要する児童への手立て ゲームに対する困りや規則の工夫の例を個別に説明する。</p>

- 6 用具の片付け、健康観察、挨拶
 ○ボールやポートボールの台を友達と協力して片付ける。
 ・けがや体調不良などがなければ確認する。

誰もが楽しく参加できる「ポートボール」の規則の提示例

- 攻め専門のプレイヤーをつくる（攻めで数的優位な状況をつくる）
 （自分のチームがボールを持ったときのみコートに入ることができる。それ以外はコートの外にあるコーンを触って待つ）
- ドリブルなしにする（全員で動いてパスをつなぐ）
- ボールを持っている人からボールを取ってはいけない。（攻めでフリーの味方を見付けやすくする）
- 全員がシュートできたら2点、全員が得点できたら5点のボーナスを設定する。（全員の触球機会やシュート機会を増やす） 等

規則の工夫の例

【1時間目】試しのゲーム（指導者からの提示）

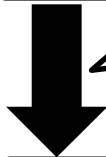
◆攻め専門のプレイヤーをつくる



【1時間目の振り返り】
 ●攻めやすい。
 ●ドリブルが上手な人だけが触っている。

【2時間目】試しのゲーム①

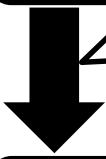
◆ドリブルなしにする



【中間の振り返り】
 ●パスが繋がらない。
 ●動いていない人がいる。

【2時間目】試しのゲーム②

◆ボールを持っている人からボールを取っては
 いけない



【2時間目の振り返り】
 ●パスがしやすくなった。
 ●まだシュートしていない人がいる。

【3時間目】試しのゲーム①

◆全員がシュートできたらボーナス点を2点入
 れる。



【中間の振り返り】
 ●全員がシュートできる気がする。

【3時間目】試しのゲーム②

☆これまでのルールで必要なものを選ぼう



【3時間目の振り返り】
 ・残った方がよいと思う規則を挙手等
 で意見を集約し、決定する。

学習カードの例

ポートボール ふりかえりシート②
 4年（ ）組 名前（ ）

★今日のめあて

誰もが楽しくゲームに参加できるような規則を選び、規則を守って誰とでも仲よくしながらポートボールに取り組もう。

★今日のふりかえり

よくできた◎できた○できなかった△

ふりかえること	◎○△
誰もが楽しくゲームに参加できるような規則を選ぶことができましたか	
規則を守り、誰とでも仲よくすることができましたか	

選んだ理由を詳しく書きましょう。

規則を守り、誰とでも仲よくするときに特に気を付けたことを書きましょう。

楽しかったことや困ったこと等を書きましょう。

3 本時案③【活用場面】（5時間目／7時間中）

(1) 本時のねらい

- ・ディフェンスのいないところやシュートしやすいところに移動するときの工夫を友達に伝えることができるようにする。
- ・友達の考えを認めることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・ディフェンスのいないところやシュートしやすいところに移動するときの工夫を友達に伝えている。(思考・判断・表現)
- ・友達の考えを認めようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8分	1 サーキットトレーニング、集合、挨拶、健康観察、準備運動 ・準備運動はチームで輪になってさせる。	
	2 本時のねらいと評価項目の確認 めあて ディフェンスのいないところやシュートしやすいところに移動するときの工夫を友達に伝えたり、認めたりしながらポートボールに取り組もう。	
	評価 ・ディフェンスのいないところやシュートしやすいところに移動するときの工夫を友達に伝えている。(思考・判断・表現) ・友達の考えを認めようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の作戦を確認し、ディフェンスのいないところやシュートしやすいところに移動するときの手がかりにさせる。 ・友達の考えをよく聞き、認めることのよさについて問い、出されたよさについてまとめ、共有する。 	
なか 30分	<p>3 活動Ⅰ チーム練習【スキルアップトレ】</p> <p>○チームの作戦を確認し、その作戦に合った動きをチームで取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返りを基に今回の作戦を選ばせる。選ぶときにチーム全員が発言できるようにする。 ・必要に応じてこれまで扱っていた三角パス等のスキルアップトレを扱ってもよいことを伝える。 ・動き方がわからない児童には、チームの作戦に沿って助言する。 1人1台端末の活用のポイント②（作戦ボード） <p>4 活動Ⅱ ゲーム</p> <p>○チームの作戦を意識しながらゲームに取り組み、ボールを持たないときの動きの工夫等について伝えたり、その考えを認めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの前にチームの作戦を再度簡単に確認させる。ゲームに出ていない児童はその作戦に沿って観察させる。 ・コートに2～3台、固定したタブレットを準備して撮影する。 ・ゲーム①を行う。その後、中間の振り返りで作戦に沿った動きができていたかを振り返り、チーム内で共有する。作戦以外でも、ディフェンスのいないところに移動する等の工夫ができていたら話題にして、ゲーム②の作戦につなげさせる。必要に応じて撮影した映像を基に振り返せる。 ・ゲーム中にも作戦に沿った動きへの称賛やアドバイスをしている児童を称賛する。 	<p>おおむね満足（観察）</p> <p>ディフェンスのいないところやシュートしやすいところに移動するときの工夫を友達に伝えている。</p> <p>十分満足</p> <p>工夫について詳しく伝えている。</p> <p>努力を要する児童への手立て</p> <p>チームの作戦やボールを持たないときの動きを再度確認し、視点をもたせる。</p> <p>おおむね満足（学習カード）</p> <p>友達の考えを認めている。</p> <p>十分満足</p> <p>友達の考えを認め、その考えに対してよい点を称賛したり、アドバイスをしたりしている。</p> <p>努力を要する児童への手立て</p> <p>友達の考えを認めるよさを再度説明したり、よいと思った考えにうなずかせたりする。</p>

まとめ
7分

5 本時の振り返り

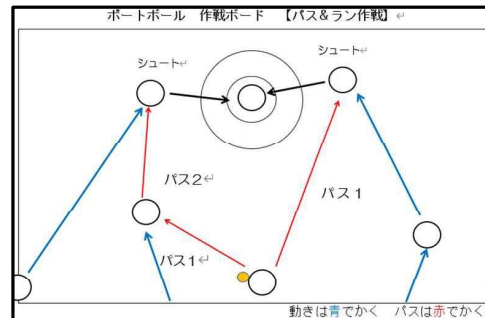
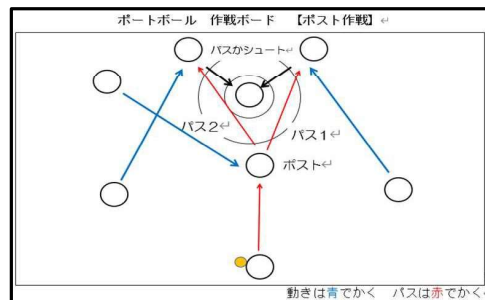
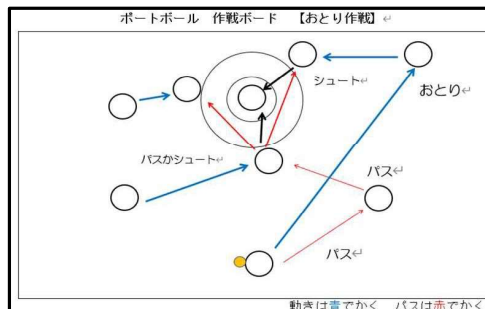
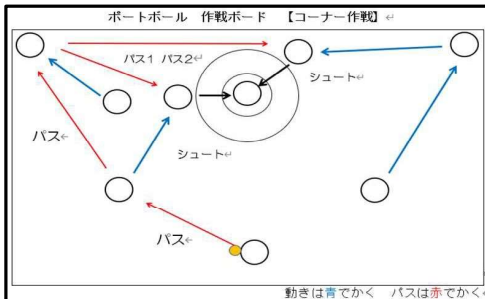
○本時のめあてに沿って振り返る。

- ・タブレットに入力させる。1人1台端末の活用のポイント①
- ・ディフェンスのいないところやシュートしやすいところへ移動する工夫を伝えることができたか、友達の考えを認めることができたか等を振り返り、タブレットに入力させる。
- ・振り返ったことをチーム内で共有させる。その後、数名に発表させて全体で共有できるようにする。
- ・工夫について詳しく伝えている児童、友達の考えを認め、それに対して称賛している児童等を紹介し、よい姿を広げる。

6 用具の片付け、健康観察、挨拶

- ボールやポートボールの台を友達と協力して片付ける。
- ・けがや体調不良などがいないか確認する。

指導者から提示する作戦例



学習カードの例①

学習カード 2月22日(木)

めあて

パスを出したり、シュートをしたりするときの工夫を友だちに伝えよう

★友だちに伝えたものにチェックをしよう。

伝え方の例 「パスをするときには～したほうがいいよ。」
「シュートをするときには～したほうがいいよ。」

パスをするときの工夫

- ノーマークの人を見つけずばやくパスをする。
- 味方の名前を呼んでパスをする。
- パスするふり（パスフェイク）をしてタイミングをずらしてパスをする。
- ディフェンスの手を見てパスの仕方を変える。
- その他

シュートをするときの工夫

- ディフェンスの手に当たらないように山なりのシュートをする。
- パスがきたらすばやくシュートをする。
- シュートをするふり（シュートフェイク）をしてタイミングをずらしてシュートをする。
- その他

学習カードの例②

ポートボール ふりかえりシート⑤

4年()組 名前()

★今日のめあて

ディフェンスのいないところやシュートしやすいところへ移動するときの工夫を友達に伝えたり、認めたりしながらポートボールに取り組もう。

★今日のふりかえり

よくできた◎できた○できなかった△

ふりかえること	◎○△
ディフェンスのいないところやシュートしやすいところへ移動する工夫を伝えることができたか	
友達の考えを認めることができたか	
どのような工夫を伝えましたか。詳しく書きましょう。	
友達の考えを認めるときに特に気を付けたことを書きましょう。	
楽しかったことや困ったこと等を書きましょう。	

3 本時案④【まとめ場面】（7時間目／7時間中）

(1) 本時のねらい

- ・ポートボールに進んで取り組むことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・ポートボールに進んで取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 8分	1 サーキットトレーニング、集合、挨拶、健康観察、準備運動 ・準備運動はチームで輪になってさせる。	
	2 本時のねらいと評価項目の確認 めあて これまで学習したことを生かしながらポートボールに進んで取り組もう。 評価 ・ポートボールに進んで取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）	
	・ポートボールに進んで取り組むために必要なことを問い、出された考えとこれまで学習した内容を関連付け、学習したことを生かしながらポートボールに進んで取り組むことができるようにする。	
なか 30分	3 活動Ⅰ チーム練習【スキルアップトレ】 ○チームで確認した作戦に合う動きをチームで取り組む。 ・前回の振り返りを基に今回の作戦を選ばせる。選ぶときにチーム全員が発言できるようにする。 ・これまで扱っていた三角パス等のスキルアップトレを扱ってもよいことを伝える。 ・動き方がわからない児童には、チームの作戦に沿って助言する。 1人1台端末の活用のポイント②（作戦ボード） 4 活動Ⅱ ポートボール大会 ○これまで学習したことを生かして進んで取り組む。 ・ゲーム前の作戦の確認、ゲームに出ていない児童は観察すること、固定したタブレットでの撮影の準備、中間の振り返り等をテンポよく進め、ゲームの時間をできるだけ多く確保することを共有する。 ・これまで学習したことを基に互いに称賛したり、アドバイスしたりさせ、より意欲的に取り組むことができるようにする。 ・周りの友達に進んで取り組むよう促している児童を称賛する。	おおむね満足 （観察） ポートボールに進んで取り組もうとしている。 十分満足 進んで取り組もうとするとともに、周りの友達にも促している。 努力を要する児童への手立て 進んで取り組むために必要なことやこれまで学習したこと等を個別に確認し、できそうなことから取り組むように促す。
まとめ 7分	5 本時の振り返り ○本時のめあてに沿って振り返る。 ・タブレットに入力させる。 1人1台端末の活用のポイント① ・進んで取り組むことができたか等を振り返り、タブレットに入力させる。また、単元をとおしてできるようになったこと等単元全体についても振り返り、入力させる。 ・振り返ったことをチーム内で共有させる。その後、数名に発表させて全体で共有できるようにする。 ・進んで取り組むとともに、周りの友達にも促している児童等を紹介し、よい姿を広げる。 6 用具の片付け、健康観察、挨拶 ・健康観察を行い、けがや体調不良などがいないか確認する。	

学習カードの例

ポートボール ふりかえりシート⑦

4年()組 名前()

★今日のめあて

これまで学習したことを生かしながらポートボールに進んで取り組もう

★今日のふりかえり

よくできた◎できた○できなかった△

ふりかえること	◎○△
ポートボールに進んで取り組むことができましたか	
進んで取り組むために気を付けたことは何ですか。気を付けたことを詳しく書きましょう。	
楽しかったことや困ったこと等を書きましょう。	
ポートボールの学習をとおしてできるようになったこと、発見したこと、考えたこと等を書きましょう。	